

柏市教育福祉会館の耐震改修後のあり方，活用について（骨子）

（１）機能面

①バリアフリー化等の推進

誰もが利用しやすい施設を目指し，バリアフリー化を推進します

- 高齢者や障害のある方でも安心して利用いただけるよう多目的トイレの各階設置，洋式化の推進を図る等明るく快適な環境づくりを目指します。
- 点字ブロックの増設やスロープの設置，磁気ループ，ホワイトボードの設置など進めてまいります。
- 施設の照明のLED化や採光の充実，案内表示の工夫により，誰もが気持ちよくご利用いただける明るく爽やかな施設を目指します。

②オープンスペースの活用，福祉意識の醸成

3階に福祉喫茶を併設したオープンスペースを整備し，福祉意識の醸成と誰もが交流し，活動しやすい場の活用を目指します。

- 3階にオープンスペースを整備し，広く市民の誰もが交流できる場としての活用を目指し，展示スペースや活動発表の場としての活用も図ります。
- オープンスペースには，より多くの方々が利用できるよう福祉喫茶コーナーを併設し御利用いただくとともに，障害者雇用を通して，市民の皆様の福祉意識の醸成に努めてまいります。
- 意見募集により多数の意見をいただいたWi-Fi環境の整備については，今後進める工事の中で，可能な範囲で設置等検討してまいります。

③総合受付の設置

利用者の利便性の向上を目指し3階に教育，福祉両分野をカバーする総合受付を設置します。

- 教育，福祉の両分野をカバーする総合受付を3階に設置します。
- このことにより，中央公民館と福祉センターの施設の利用状況を把握し，利用者へ適切な情報を提供することで利用者の利便性の向上に努めるとともに，両機能が連携した取り組みを進めます。

④多目的スペースの活用

2階の和室をリニューアルし，誰もが使える多目的スペース等を設置します。

- 多目的スペースは，高齢者，障害者，若者，子どもなど，誰もが気軽に使える場としての活用を目指します。
- 囲碁や将棋の実施場所等については，多世代交流・高齢者の社会参加，介護予防や健康増進等の視点を取り入れながら，今後のあり方や利用方法，団体利用に関するルール等について引き続き検討を進めます。

⑤福祉総合相談窓口等の設置

1・2階に福祉総合相談窓口やボランティアセンターの設置に向けた検討を進めていきます。

- 教育福祉会館内に，福祉に関する総合相談窓口の設置を検討し，高齢，障害，子育て等，世代・分野を問わず，市民の相談に対応可能な体制を構築します。
- また，ボランティアセンターも設置し，様々な福祉活動の中間支援窓口として，市民（利用者）の活動を支援する仕組みづくりを進めます。

官民協働検討委員会等意見及び市民の皆さまからの主な意見

<官民協働検討委員会等>

- スロープの設置等のバリアフリー化の推進や多目的（ユニバーサル）トイレの設置，増設
- 建物全体が暗いため，採光の充実等
- フロアがわかりにくいので，館全体がわかる表示や子どもが利用しやすい壁紙の色の工夫等

<意見募集で出た主な意見>

- 高齢化が進むのでバリアフリー化の推進
- 広く明るいトイレの洋式化，だれでもトイレの設置
- 外国の方が増えているので，部屋の名称や入口案内に外国人対応の案内表示
- 3階等暗い場所への電気設置

<官民協働検討委員会等>

- 教育と福祉を融合させるため，3階に誰もが交流できるオープンスペース等を設置
- 福祉の喫茶コーナーを継続し，市民と交流しやすい3階に移設し，障害者の社会参加と福祉意識の向上を図る

<意見募集で出た主な意見>

- 市民が無料で利用できるスペースをお願いしたい
- 定期的に講座や物作り体験など，活発に交流できる場所になると良い
- 話し合いや打ち合わせができるようにしてほしい
- オープンスペース脇に基盤や基石を置ける棚を設置し利用できるしてほしい
- 多目的スペースにWi-Fiを設置してほしい

<官民協働検討委員会等>

- 施設利用の総合受付窓口を3階か1階に設置

<意見募集で出た主な意見>

- 総合受付の設置は必要

<官民協働検討委員会等>

- それぞれの活動が閉じた空間で行われており，年齢で区切らない多世代が交流できる多目的スペースの設置

<意見募集で出た主な意見>

- 2階多目的スペースと3階オープンスペース，5階多目的室の用途の違いがよくわからない
- 2階の多目的ルームや廊下等のスペースに囲碁や将棋ができるテーブルや椅子を用意してほしい

<官民協働検討委員会等>

- 誰でも何でも相談できる総合的な福祉の相談窓口の設置
- ボランティアセンター（人材育成等の中間支援機能）の場所の確保

<意見募集で出た主な意見>

- いろいろな相談窓口の設置